堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター 平成30年度事業報告

資料４

（１）自立訓練事業

① 自立訓練事業利用者の状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 平成30年度 | | | 平成29年度 | | |
|  | | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 |
| 利用契約者数 | | 45 | 69 | 114 | 33 | 78 | 111 |
| うち、 | 新規利用（契約） | 22 | 23 | 45 | 16 | 25 | 41 |
| 退所（契約解除） | 16 | 33 | 49 | 12 | 32 | 44 |
| 延利用件数 | | 2,112 | 3,560 | 5,672 | 1,912 | 4,301 | 6,213 |

② 新規利用者の契約に至ったきっかけ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成30年度 | | | 平成29年度 | | |
|  | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 |
| 医療機関から紹介 | 12 | 18 | 30 | 8 | 17 | 25 |
| 他の事業所から紹介 | 3 | 0 | 3 | 1 | 3 | 4 |
| 市・相談機関から紹介 | 3 | 1 | 4 | 0 | 1 | 1 |
| 本人・家族から相談 | 2 | 4 | 6 | 5 | 3 | 8 |
| その他 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 3 |
| 合計 | 22 | 23 | 45 | 16 | 25 | 41 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 他の事業所を利用 | 就職(復職)/就学 | 入院 | 入所 | 在宅 | その他 | 合計 |
| 平成30年度 | 機能訓練 | 7 | 5 | 0 | 0 | 4 | 0 | 16 |
| 生活訓練 | 9 | 12 | 1 | 0 | 9 | 2 | 33 |
| 合計 | 16 | 17 | 1 | 0 | 13 | 2 | 49 |
| 平成29年度 | 機能訓練 | 4 | 3 | 0 | 0 | 4 | 1 | 12 |
| 生活訓練 | 5 | 12 | 1 | 1 | 11 | 2 | 32 |
| 合計 | ９ | 15 | 1 | 1 | 15 | 3 | 44 |

③ 退所者の動向

平成30年度退所者動向（「他の事業所利用」内訳）

機能訓練7（職業能力開発校 2、就労継続B型事業所 3、生活介護事業所 1、介護保険事業所 1）

生活訓練9（就労移行事業所 1、就労継続A型事業所 1、就労継続B型事業所 3、生活介護事業所 1、

介護保険通所事業所 3）

④利用当事者・家族支援

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 家族懇談会 | 7 | 2 | 1 | 4 | 2 | 4 | 3 | 4 | 4 | － | 4 | 5 | 40 |
| 学習懇談会  （OB交流会） | － | 14 | － | － | 11 | 23 | － | － | － | 57 | － | － | 105 |

（２）支援普及事業

① 相談支援の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相談者内訳 | 平成30年度 | 平成29年度 |
| 本人 | 436 | 234 |
| 家族 | 412 | 332 |
| 行政関係 | 225 | 183 |
| 医療関係 | 667 | 370 |
| 福祉関係 | 347 | 290 |
| 教育関係 | 7 | 7 |
| 就労関係 | 55 | 63 |
| その他 | 39 | 65 |
| 合計 | 2,188 | 1,544 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成30年度 | 平成29年度 |
| 新規実人数 | 144 | 144 |
| 継続実人数 | 377 | 275 |
| 実人数合計 | 521 | 419 |
| 延相談件数 | 2,188 | 1,544 |

② 研修会・勉強会開催の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業　支援普及研修会 | | |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 6月6日 | 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 第1回研修会  ｢高次脳機能障害のある方の就労支援｣ ～医療と福祉の早期連携～ | 84 |
| 8月22日 | 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 第2回研修会  「高次脳機能障害と自動車運転」 | 79 |
| 11月3日 | 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 第3回研修会  「認知症と高次脳機能障害　～よりよい地域支援について～」 | 97 |
| 2月13日 | 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 第４回研修会  「相談支援専門員の役割と課題　～支援の連携をめざして～」 | 36 |
| 出張勉強会 | | |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 4月17日 | フルサポートCPC　出張勉強会「失語症の対応について」 | 28 |
| 8月27日 | ベルランド総合病院第１回出張勉強会  「高次脳機能障害と自動車運転」 | 37 |
| 10月23日 | ベルランド総合病院 第2回出張勉強会  「SSTから考える社会的行動障害(主に感情コントロール障害)への対処法」 | 15 |
| 9月26日 | 栄友社　訪問介護「ほのか」出張勉強会  「高次脳機能障害とは　～高次脳機能障害を理解するために～」 | 10 |
| 10月30日 | 社会福祉法人 まほろば　パル・茅渟の里　第１回出張勉強会  「腰痛予防体操」 | 15 |
| 11月13日 | 社会福祉法人 まほろば　パル・茅渟の里　第2回出張勉強会  　「症状に合わせた介助方法の紹介」 | 11 |
| 11月19日 | 社会福祉法人　自立支援協会出張勉強会  「褥瘡の原因と生活における予防策」 | 51 |
| 11月26日 | 浜寺中央病院　出張勉強会  「障害福祉サービスと介護保険サービスの連携について」 | 62 |
| 12月20日 | 阪南病院　出張勉強会  「高次脳機能障害の特性と対応」 | 45 |
| 3月12日 | 「堺市立健康福祉プラザ施設見学と生活リハビリテーションセンター  （堺市高次脳機能障害支援拠点）における支援状況報告」 | 10 |
| 3月19日 | 堺あすなろ園出張勉強会  「高齢化する障害者の二次障害の予防について」 | 27 |

研修会・勉強会述べ参加者数　607人

③ 視察・研修の受入れ（他機関からの依頼対応）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 視察・見学 | | |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 4月12日 | 大阪市更生療育センター職員施設見学 | 3 |
| 4月13日 | 大阪府立障がい者自立センター施設見学及び意見交換会 | 3 |
| 4月20日 | 大阪府福祉部障害福祉室　施設見学及び意見交換会 | 9 |
| 5月22日 | 大阪府障がい者自立相談支援センター施設見学及び意見交換会 | 2 |
| 11月12日 | 錦海リハビリテーション病院（鳥取県）施設見学 自立訓練事業所「Hito studio」設立に向けて | 3 |
| 2月1日 | 浅香山病院職員（作業療法士）施設見学 | 2 |
| 研修会等 | | |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 6月12日 | 難病患者支援センター学習会「パーキンソン病」 「やってみよう！生活の工夫踊ってみよう！パーキンソンダンス」 | 34 |
| 12月5日 | 大阪市社協　平成30年度障がい支援区分認定調査員現任研修 1回目「高次脳機能障がいについての理解」 | 50 |
| 1月8日 | 大阪市社協　平成30年度障がい支援区分認定調査員現任研修 2回目「高次脳機能障がいについての理解」 | 50 |
| 12月15日 | 一般社団法人　堺老人クラブ連合会セミナー 「楽しく実践！脳を活性化するゲームのコツ」 | 60 |
| 1月31日 | 南保健センター学習会「パーキンソン病」 「やってみよう！パーキンソン病の日常生活の工夫」 | 54 |
| 2月3日 | 大阪府高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業 『聞いて・見て・知って「高次脳機能障がい」のこと』（大阪府委託事業） | 281 |
| 2月8日 | 大阪府言語聴覚士会研修会 「高次脳機能障害を呈した方の自動車運転」 | 34 |
| 3月12日 | 平成30年度　近畿ブロック身体障がい者更生施設協議会研修会 ｢脳損傷者の地域リハビリテーション｣ ～　その人らしい地域生活を支えるための支援者の役割　～ | 39 |

視察受入れ・研修会参加者述べ人数　624人

④ 自動車運転技能評価の実施状況

＜堺市＞実施者数　18名　（データについては大阪府事業と統合）

⑤ ネットワーク構築（各区自立支援協議会等への参加状況）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 市・各区自立支援協議会 | 4 | 6 | 3 | 3 | 3 | 6 | 4 | 3 | 5 | 7 | 4 | 4 | 52 |
| 府コーディネーター会議 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 3 | 3 | 3 | 2 | 4 | 30 |
| 医療機関との会議等 | 4 | 5 | 1 | 1 | 1 | 4 | 6 | 1 | 4 | 3 | 3 | 5 | 38 |
| 事業所との会議等 | 2 | 3 | 4 | 4 | 1 | 3 | 4 | 4 | 2 | 2 | 3 | 4 | 36 |
| その他 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 8 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 19 |
| 合計 | 13 | 18 | 11 | 11 | 9 | 15 | 23 | 12 | 16 | 16 | 13 | 18 | 175 |

（３）　目標設定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 目標 | 結果 |
| 自立訓練事業延べ利用回数（稼働率） | 6,600回(91%) | 5,672回(77.8%) |
| 自立訓練事業利用者満足度（退所者） | 85％以上 | 89.3%（50/56） |
| 高次脳機能障害者等への相談支援延件数 | 2,400件 | 2,188件 |
| 研修会・勉強会の参加者数 | 600人 | 607人 |

（４）総括

自立訓練事業については、30年度報酬改定に伴う利用要件変更があり、高次脳機能障害医師診断書によって機能訓練サービスを提供することが可能となり、麻痺や失語症といった身体障害のある方にサービス利用開始当初から障害像に応じた的確なサービス種別を提供することが出来るようになった。

機能訓練では、30年度新規利用者22名を含む45名に対して2,112回の訓練を提供した。生活訓練では、30年度新規利用者23名を含む69名に対して3,560回の訓練を提供した。

機能訓練、生活訓練の合計の新規利用者45名の内30名が医療機関からの紹介であり、医療でのリハビリテーション終了後にきれめのない支援が行えた。この医療からの継続したリハビリテーション実施は、高次脳機能障害が原因で起こる地域生活における失敗体験による自己肯定感低下を回避するための有効な方法と考える。

機能訓練、生活訓練ともに訪問訓練として単独通所のための通所訓練を実施し、重度の記憶障害がありながらも適切な代償手段を用いることで複数の方が単独通所可能となっている。その他にも利用者の在宅生活安定化を目的とした住宅評価などを実施した。また、訪問訓練として算定していないが就労先への訪問にも積極的に取り組み就労者の定着支援にもあたった。

退所者は機能訓練16名、生活訓練33名の合計49名で、そのうち平成29年度利用開始した生活訓練利用者の身体障害者手帳交付に伴う機能訓練サービスへのサービス種別変更が2名で実退所者数は47名であった。訓練終了後の進路の内訳は、他の障害福祉サービス利用となった「他の事業所利用」が16名、復職や新規就労など一般就労と復学の合計である「就職（復職）/就学」が17名、「入院」が1名、「入所」が0名、特にサービスなどを利用しない「在宅」が13名であった。特に「在宅」となった方々については、家事全般を行う方や定年後の自立した地域生活を送られる方もいる一方で、病識に乏しい利用者において就労支援機関との連携を行いながら支援を行ってきたものの、本人のイメージする就労とは異なる条件であることを理由に「特に何もしない」との結論に至ったケースが一定数存在している。但し、通所訓練利用終了後も電話連絡や相談体制を維持している。

その他には、訓練を提供する当事者だけでなく家族支援として、毎月家族懇談会を開催し、家族ならでは悩みや不安を共有することで家族の孤立防止への取り組みを行った。今年度は11回開催し延40名の参加を頂いた。また、退所者と利用者の当事者・家族との交流機会を設けることで、退所者の定着支援と利用者の訓練目標設定や意欲向上を目的とした学習懇談会を5月、8月、9月、1月の4回実施し延105名の参加を頂いた。特に、8月と1月には訓練利用終了者による退所後の地域生活についての話を聞く機会を設け、現在利用中の当事者、家族から大変参考になったとの感想を頂くことが出来た。

高次脳機能障害支援普及事業のうち相談支援における新規相談実人数は144人と29年度と同じ人数であった。新規と継続を併せた実相談人数は521人であった。また、延相談件数2,188件となった。29年度は、実相談人数419人に対して延相談件数1,544件であったことと比較すると、相談実人数当たりの相談回数の増加が見られ、より細やかな相談支援が実施できたと思われる。

支援普及研修会においては、関係団体、支援機関向け研修会を6月6日、8月22日、2月13日の計3回、当事者・ご家族・市民向け研修を11月3日に開催し、合計4回延296人の参加を頂いた。特に大阪府警本部にも協力を頂いた第2回研修会の自動車運転再開をテーマにした研修会は、他県からの参加申込みもあり定員を大幅に上回る申込みを頂くなど、その関心の高さが伺えた。その他、11月開催の市民向けの講演会では、同日に同様のテーマでの講演会が大阪市内で開催されたこともあってか例年をやや下回る参加者となったが、参加者アンケートにおいて高い評価を頂けたことから開催日程の設定の難しさを改めて認識することとなった。その他の高次脳機能障害に対する啓発活動としては、今年度も引き続き出張型勉強会の案内を行い8事業所延10回の開催要請を受け延301人の参加を頂いた。さらに、近畿の各府県の自立訓練事業所にて構成される身体障害者更生施設協議会の研修会に合わせた堺市における支援状況報告会を開催し、センターが主催した支援普及研修会及び出張勉強会の延参加者数は607人となった。

その他には、視察や研修会対応依頼があり延624人の方々へ情報提供を行うことが出来た。

「目標設定と事業結果」については、自立訓練事業延利用回数は、機能訓練2,112回、生活訓練3,560回の合計5,672回で年度目標の6,600回を大きく下回り目標達成は出来なかった。また開所日数243日からの稼働率も77.8％と目標達成出来なかった。

利用者満足度については、聴取時期を均質化するために昨年度に引き続き利用終了時にアンケート調査を行った。今年度利用終了者は機能訓練16名、生活訓練33名の合計49名でその内サービス種別変更が2名あることから、実退所者は47名に対して34名からアンケートの回答を得ることが出来た。アンケート回収率は72.3％で、昨年度（65.9％）を上回ったものの全ての利用終了者からの回答を得ることは出来なかった。

利用者アンケート回答者34名の内「サービス利用に満足している」という設問に対して「よくあてはまる（23）」、「あてはまる（7）」との回答があり、その合計30名全体の88.2％が利用に満足しているという結果となった。さらに、今年度から同居する家族に対しても同様のアンケートを送付し、対象者37名中22名より回答を頂くことが出来た。その内「サービス利用に満足している」という設問に対して「よくあてはまる（10）」、「あてはまる（10）」の合計20名全体の91.0％が利用に満足しているという結果となった。

アンケート回収が行えた利用者34名及び利用者家族22名の合計56名中50名より「利用に満足している」との回答を頂いた結果、今年度の利用者満足度は89.3％となり、目標の85％以上の利用満足度を達成することが出来た。但し、利用途中で通所意欲の減退などでサービス利用開始当初の目標を果たせず利用終了した利用者があり、引き続き満足度調査実施への課題が残る結果となった。

高次脳機能障害者等への相談支援延件数は、2,188件で目標の2,400件を下回る結果となった。これは、専任の支援コーディネーター配置により細やかな対応はできたと思われるが、新規相談件数の増加が無かったことが、延相談件数の目標未達成の要因と思われる。

研修会・勉強会の参加者数は、支援普及研修会４回延参加者数296人、出張勉強会10回とその他の研修会を併せた延参加者数311人を合わせて607人の参加者があり目標の600人を上回ることが出来た。

第２期指定管理期間の2年目において、相談支援体制が整い細やかな専門相談が実施できたことや、利用者満足度も比較的高い結果を頂くことが出来たことは良かった。しかしながら、年度途中の利用者数の落ち込みと猛暑や台風の影響もあってか利用予定当日の欠席者が想定より多く、訓練サービス提供件数が目標を大幅に下回ったことは大きな課題となった。次年度支援コーディネーター2名の内1名の交代があり、新規利用者獲得に向けた市内医療機関への働きかけに注力していくとともに、訓練プログラムの見直しを適宜行い欠席者対応策としていきたい。